

# 平成30年度 益子町立田野中学校 学校評価書

## 1 教育目標

- |          |             |            |
|----------|-------------|------------|
| 1 自ら学ぶ生徒 | 2 思いやりのある生徒 | 3 進んで鍛える生徒 |
|----------|-------------|------------|

## 2 学校経営の方針

- 1 教育公務員としての誇りと使命感を自覚し、研鑽を積むとともに責任のある職務の遂行に努める。
- 2 一人一人の生命と人権の尊重を基盤として、豊かな心をもち、正しく判断して行動できる生徒の育成に努める。
- 3 生徒・保護者・教職員の互いの信頼関係のもとに、集団規律とそれぞれの個性の伸長を図る教育活動の推進に努める。
- 4 家庭や小学校、地域社会との連携を深め、『協働』の学校づくりを推進し、自尊感情の高い生徒の育成に努める。

## 3 今年度の重点目標

- 1 学習指導の改善・充実
  - (1) 主体的な学習活動の重視と指導法の工夫・改善及び学び方の学習
  - (2) 分かる授業の推進
  - (3) 家庭学習の充実（学習習慣の定着）
  - (4) 特別に支援の必要な生徒に応じた取組（校内支援委員会＝学年を越えた支援）
- 2 心の教育の充実
  - (1) 道徳の時間・読書活動の充実
  - (2) 違いを認め、思いやりの心を育てるいじめのない学級・学校づくり（居がいのある学級づくり）
  - (3) 勤労生産・奉仕活動を通しての自主的・実践的態度の育成
  - (4) 学校組織の機能を生かした生徒指導
  - (5) 人権感覚の高揚と望ましい人間関係の育成
- 3 保健・安全教育の推進
  - (1) 性教育を含む保健・安全教育の充実と薬物乱用防止教育の推進
  - (2) 保健・安全管理の徹底と事故防止
  - (3) 部活動の枠を越えて全校体制で進める体力づくり
  - (4) 危機管理能力の育成（未然防止・危機予知・危険回避能力の育成）
- 4 自主・自立の精神と社会性の育成
  - (1) 自立心と社会性の育成
  - (2) 発達段階を考慮した系統性のあるキャリア教育・進路指導の充実
- 5 地域に根ざした教育の推進
  - (1) 地域の自然、文化、特性の一層の理解と地域プライドの醸成
  - (2) 学校からの保護者・地域等への積極的な情報発信
  - (3) 「地域連携教員」の地域への周知とコーディネーター機能を活かした地域との連携

4 評価表 ( 評価のAは優れている、Bは良い、Cは改善の余地あり、Dは要改善 )

項目	具体的評価指標	生徒	保護者	自己評価(教職員)		学校関係者評価	
				評価	達成状況と改善策	評価	成果(○)と課題(▲)
教育課程・学習指導	言語活動の充実と基礎学力の向上を目指した学習指導の工夫・改善に取り組み学力が向上した。	A	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習支援ボランティアの池田さんや塚原先生、T2の先生方の細やかな指導が大変助かっています。</li> <li>授業の内容をなるべく理解できるように支援したいと思っていますが、「すべて」とはいかないところがあります。</li> <li>その立場にならないと分からないことがたくさんあります。</li> </ul>	B	○生徒、保護者アンケートでは、「授業が分からない」「もっと学力の向上を」などと記述されているのがあるが、パワーポイントでの説明のように先生方が学力向上のための研修をたくさんしているのを保護者に見てもらったほうが良い。
進路指導	自己理解に基づき、将来の生き方を考え、主体的に進路を選択する能力の育成に努めた。	A	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>忙しい中ですが、生徒・保護者に情報を発信すべき。</li> <li>今年度は、例年以上に「進路だより」が発行されている。</li> </ul>	B	○ここ数年県外への進学が数名いて、自分の生き方を広く考えるようになってきたように思い、良いことだと思う。
生徒指導	指導体制の確立による共通理解の下、社会の一員としての意識について指導した。	A	B	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間はかかるが、「生徒理解」の時間が毎月確保され、共通理解の中で、支援や指導がなされている。</li> <li>ケース会議が複数回開催され、指導や支援の方向性をいろいろな角度から知れて良かった。</li> </ul>	A	○自転車置き場、昇降口の下駄箱が整然としているのを見ると、指導が行き届いていること、生徒が落ち着いていることを感じました。
保健管理	生徒の心身の健康について、各診断結果に基づき、適切な指導管理を行った。	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康上配慮を要する生徒の共通理解がなされた。</li> <li>保健室登校の生徒が数名いるため、本来の保健室運営に支障をきたす場面も見られた。</li> </ul>	A	○エアコンの設置が決まり来年の夏は、快適な教室で学習することができるようで、学力の向上にもつながると良い。
安全管理	全教職員の共通理解の下、生徒の危険予測能力、危機回避能力の育成に努めるとともに、教職員の危機管理体制の整備を行った。	A	B	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中合同の引き渡し訓練は、実施してみたの課題も知ることができ、有意義なものになった。</li> <li>指導はしているが、生徒一人一人の意識の差があり、危ない生徒がいることも事実です。</li> </ul>	A	○校長先生と生徒による「朝のあいさつ運動」には、いつも頭が下がります。
特別支援教育	特別支援教育についての理解を深め、全教職員の共通理解の下、校内支援体制の整備に努めた。			A	<ul style="list-style-type: none"> <li>もっともっと研修を増やした方が良いと思うが、時間が・・・</li> <li>個別指導計画の作成等、対象生徒を絞った形で実施できたが、本来であれば、対象の生徒全員に個別の指導計画が立てられると良いのだが・・・</li> </ul>	A	▲1つの小学校からの入学ということで、中学校でも特別支援学級の新設が数年後には開設されることになる。教室や人材の確保を検討してほしい。

項目	具体の評価指標	生徒	保護者	自己評価(教職員)		学校関係者評価	
				評価	達成状況と改善策	評価	成果(○)と課題(▲)
組織運営	校務分掌を生かして学校が組織体として機能するよう努め、教育公務員としての自覚の下、地域から信頼される学校づくりに取り組んだ。	A	A	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期は課題として挙げられていたが、効率的な報告ということで、参考になった研修の資料を回覧するなどの取組が見られた。</li> </ul>	A	▲田野中の規模の職員数では一人の先生の仕事(校務分掌)の数が多く忙しいのでは無いか?分掌を削減することはできないのか?
研修	教職員の資質向上を目指し、校内外の研修に積極的に取り組んだ。			B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PDCAサイクルを意識しながら諸活動に当たることができた。</li> <li>・生徒、保護者の考え方が多種多様化してきており、それらの考え方に対して、柔軟な対応力を職員が持たなければならない時代になってきている。</li> </ul>	B	▲「新しい教科道徳」や「教育機器(電子黒板やタブレット)の効果的な使い方等も研修を積み重ねているようなので、今後も研修を積み重ね、生徒に還してほしい。
教育目標	地域・保護者・生徒の実態に即し、PDCAサイクルを活用して教育目標の具現化に努めた。		B	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年よりもHPの学年等のページのアップ量が増えました。週1をめざしていきたいです。</li> <li>・全職員がHPにアップできるように研修があるといいと思いました。</li> </ul>	A	○地域・保護者・生徒の実態を良く理解して立てられた目標であり、その具現化の様子が、今日のスライドでも見られ今後も継続して欲しい。
情報提供	各種たよりやブログ等様々な機会を通して学校の活動状況を積極的に発信した。	A	B	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公開日を行事など鬼併せて設けるべきだと思います。(イベントがあるときに、地域参観日を設定すると良いのではないのでしょうか?生徒会役員選挙立会演説会や、各学年での「ふれあい活動」など)</li> </ul>	A	○学校の様子・活動が大変よく分かる。さらに、活動の様子等を写真入りで掲載されることが多くなると、より分かりやすくなると思う。
保護者との連携	地域・保護者への積極的な情報発信や諸活動を通して、三者の連携に取り組んだ。	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の安全を最優先しながら、多くの修繕が行われ、感謝しています。次年度、エアコンの設置が決定しましたが、できれば、梅雨前に設置してもらえないでしょうか?</li> </ul>	B	○HPもアップ(更新)されている。画像は相手に伝わりやすく効果的ある。 ▲保護者も勤務の都合で休みが取りにくくなっている最近では、子どもに係わることで、時間的な制約ができてしまい、うまく連携が図れなくなっているのでは無いか?
教育環境整備	教育活動に必要な教材備品、施設設備の整備を計画的に進め、その充実を図った。	A	B	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・細かいところまでよく修繕、改善されています。</li> <li>・クーラーやパソコン関係の必要なものなど、現場の要望を優先していただけるよう切にお願いしたい。</li> </ul>	A	▲校舎の老朽化に伴い、修繕を必要とする箇所が多いのは事実だが、安全に係わる面での修繕や改修が行われているのが分かる。

